

もっと笑顔で、暮らせる明日へ。

aito

11

Nov 2019

No.296



大黒舞で人々に笑顔と喜びを与えたい

朝日支所管内 齋藤 富美男さん(75)
「朝日大黒舞の会」代表



約25年前、地域のイベントなどで大黒舞を披露する同好会「朝日大黒舞の会」に加入しました。当時は三味線の音楽をカセットテープで流していましたが、それよりも生演奏の方が迫力を出せると思い、和楽器の講師のもとで三味線の弾き方を教わりました。現在も講習を受けながら、たくさんの人に大黒舞の素晴らしさを伝えています。

阪神・淡路大震災が起きた年、被災者の仮設住宅を同会のメンバーと回りました。そこで大黒舞を披露し、観客を笑顔にできたことが今でも深く印象に残っています。他にも福祉施設や敬老会などで披露し、喜んでもらうことが一番のやりがいになっています。朝日地域の伝統芸能「大黒舞」をこれからも後世に繋げていきたいです。



晴れた日は2人で三輪車に乗って遊んでるよー!



あいとキッズ

三川支所管内 遠藤 笑咲ちゃん(4)・笑真くん(2)

毎日楽しく過ごし、思いやりを持って育てほしい

笑咲ちゃんは幼稚園では友達とブロック遊びに夢中で、家では洗濯物を畳んだり、床の拭き掃除をするなど、家事のお手伝いに積極的です。
笑真くんは大きくなって飾り気のない笑顔でいてほしいという意味が名前に込められています。



ファミリーファーム

FAMILY FARM

家族一丸での農業経営に充実感

藤島支所管内
よこやま 横山 勝儀さん(45)
よしゆき 芳幸さん(15)
まさと 真人さん(11)
みり 望莉さん(8)



(勝儀さん) 幼い頃から農家である父の手伝いをするのが好きでした。年を重ねるにつれ、自分も農業がしたいと思うようになり、農業大学で2年間学んだ後に就農しました。現在は、家族や親戚と協力し、水稲や庄内柿などを中心に栽培しています。特に庄内柿は、祖父が圃場を開墾し、樹木から育ててきたものなので、今年のように甘く大玉に実った年は家族にとっても喜ばれます。それが私のモチベーションにも繋がっており、農家であることに充実感があります。

高品質な柿を作るには、年間を通じた樹木の管理が必要で、防除から摘蕾・摘果、そして収穫など、やることは年中尽きません。そんな私の姿を見てなのか、息子2人も脚立に上り、収穫を手伝ってくれます。長男は将来就農したいと言っているため、その際は水稲と柿の作付面積を更に拡大できればと思っています。

SHONOSEI TRY

庄農生トライ

部活動で地域活性化を目指す

いしかわりの 石川 梨乃さん 鶴岡市
食料生産科3年



私は2年生から部活動である、農業部加工部門(愛称=うどん部)に所属しました。発足した頃のうどん部は、部員7人からのスタートでした。外部講師をお呼びしてのパン作りや各種コンテストへの参加、「庄農うどん」を地元の飲食店6店舗と連携・提供させていただきました。取材などを受けて報道され、庄内農業高等学校の活動を少しでも知ってもらうきっかけになりました。これまで私たちの活動を後押しして下さった全ての人に感謝し、これからも地域を盛り上げるような取り組みや人の役に立てる活動をしていきたいです。



人と自然、食べ物と生命、消費者と生産者。みんな絆で繋がっている。

えがお・デ・あいと 1周年を迎えました

これからも地域の皆様を元気にしていきます！

JA庄内たがわ福祉介護支援センター

デイサービス
えがお・デ・あいと

電話0235 (33) 8165
Eメール fukushi@ja-shonai.or.jp
〒999-7621 鶴岡市長沼字宮前23-1

月曜日から土曜日（祝日も営業）営業。
平屋建て延べ床面積約435平方メートルの広さ。



自立した生活の継続をコンセプトにしたケアが利用者に好評

JA庄内たがわの通所介護施設「えがお・デ・あいと」が2019年10月に開所1周年を迎えました。「できることからやってみよう！明日は今日より多くの『笑顔』を！」を基本理念とし、自立した生活の継続をお手伝いしています。利用者の中には、寝たきりで在宅介護の状態でしたが、通い始めてから、車いすに乗り、他の利用者や職員らとバズルや会話を楽しめるまでにな



った方もおります。

完全個室の入浴で、昼食は地場産の食材を使った簡易バイキング方式のほか、一日の過ごし方をメニューから選択できます。また、関節のほくし体操や筋力強化に効果のあるレッドコードという機器を常設しています。施設では、これまで焼き鳥やお菓子作り、小物作成や散歩など、機能訓練も併せて元気に過ごせるよう職員らも工夫しております。自宅に近い環境で、自立した

生活を可能な限り継続できるようなサービスを提供しているほか、高齢などで心身の機能が低下しても、住み慣れた地域で自分らしい生活を続けるためのサポートを行っております。利用者やそのご家族からは、「通所してから箸が使えるようになり、足取りも良くなった」「表情が明るくなった」「職員の対応が親切」と好評です。

今後も、地域の皆様が元気になるよう精一杯お手伝いさせていただきます。

今年度産の果実肥大については、初期生育時期に好天が続いたことから出荷時期まで順調に推移し、平年並みからやや大きい状況で、目標のL玉比率65%を上回っています。着らい数は全般的に平年並みで、着果数は生理落果が少なく、平年並みからやや多いという状況となりました。

10月18日に開かれた出発式には、当JA黒井徳夫組合長をはじめ、JA全農山形や県庄内総合支庁農業技術普及課などの関係者ら約15人が出席し、出羽三山神社の齋主による輸送安全と高価格取引を祈願する神事が執り行われました。主要消費地の北海道へ出発するトラックの前で代表者らがテープカットを行い、約15ト（1箱7.5キ）の庄内柿を積んだトラックを参加者らが拍手で送り出し、出荷を祝いました。当JAでは、出荷量2400ト、販売高6億円を目標に、11月下旬まで出荷が続く見込みです。

当JAの主力園芸品目「庄内柿」の2019年度産は、10月11日から出荷がスタートし、現在、管内の選果場では大玉に実った庄内柿が続々と集荷され、選別や箱詰め作業が行われています。



10月5日、管内で目揃え会を開き、出荷規格や収穫までの圃場管理などを生産者へ周知し、高品質出荷向け士気を高めました。

庄内柿

今年は「大玉」、十分な糖度に仕上がりました。

JA庄内たがわ園芸重点品目



市場関係者らが9月25日、鶴岡市羽黒町の圃場を視察したほか、庄内神社を参拝し、豊作を祈願しました。

10月26日には、鶴岡市長や当JA黒井組合長、JA全農山形の代表者らが、北海道の札幌みらい中央青果街へ向かい、市場でのセリ前挨拶などトップセールスを行いました。





収穫体験ツアーで庄内柿をPR

鶴岡市と大阪府の関西交通社が企画した農業支援ツアーの参加者が10月28日から11月1日まで、同市内の果樹園で収穫作業などを行った。羽黒、櫛引、朝日各地域の農家を受け入れ先に、50～80代の20人が参加。朝日地域の果樹園では、参加者が脚立に上り庄内柿の収穫を手伝った。PRと併せ、収穫期の人手不足を補おうと市と同社が今年7月に協定を締結した。



バラ集荷で出荷量40トンを目指す

里芋部会は10月10日、羽黒支所で目揃え会を開いた。参加した約10人の部会員が、規格ごとに分けられたサンプルを手にとって出荷規格を確認し、高品質出荷に向けて意識を高めた。また、目揃え会前には部会員の圃場で試し掘りをし、肥大状況も確認した。バラ集荷を導入して出荷作業の労力軽減と生産量拡大を図り、約40トンの出荷を計画している。



焼き畑栽培の温海カブを収穫・調理

酒田調理師専門学校の2年生13人が10月18日、鶴岡市木野侯で焼き畑栽培された赤カブ「温海カブ」の収穫・漬物加工を体験し、食文化や農業への関心を深めた。



地域の伝統食材について、知識等を身に付ける授業の一環。地域住民らの指導を受けながら収穫を体験し、持参した包丁で干切りにした後、味を確かめながら甘酢漬けを完成させた。

どんぐりマークで純国産アピール

椎茸部会は、来年4月から純国産を示す「どんぐりマーク（栽培原料原産地マーク）」のシールを商品に貼り、販売する方針を固めた。部会は、(有)きのこ培養センターで作られた純国産の菌床を使用しており、シタケの品質や食味に対する市場評価も高い。国外産菌床を使用する他との差別化を図り、安全性を求める消費者の需要に応えていくことが目的だ。



牛の成長に農家ら笑顔

鶴岡市羽黒町の月山高原牧場で10月31日、繁殖用に育てられた牛の下牧作業が行われた。大きく成長した牛134頭の体重と体高を測定し、各畜産農家のもとへ帰された。5月14日の入牧から171日間、約100%の放牧地で良質な牧草を食べながら成長した牛たち。迎えにきた農家らは終始笑顔を見せていた。今年度は庄内地域の49農家が利用した。



日頃の食材宅配利用へ感謝を込めて

当JAは10月26日、庄内町で「JAふれあい食材プレゼンツ 食材宅配ご利用感謝祭」を開いた。JAふれあい食材を利用している約100人が参加し、食材宅配品を使った料理を振る舞いもてなした。講演会では、(株)Aコープ東北の管理栄養士を務める徳田沙織さんが「始めましょう！減塩生活！」と題し、調理や食事の中で塩分量を抑えるコツを紹介した。



庄内町へ農林予算編成の要請書提出

当JAとJA農政対策推進協議会は10月25日、2020年度農林予算編成にあたっての要請書を庄内町に提出した。農産物産地確立対策と生産基盤支援対策を柱に、JAの重点品目の生産拡大と担い手対策等のほか、同町の主力園芸品目の一つである花きの予冷库の導入支援を求めた。予冷库の整備により、市場や買参人との前売情報販売がスムーズとなることや品質保持により販売単価の向上が見込めることから、既生産者の規模拡大や後継者や新規作付者の生産意欲に繋がると期待している。他に米や園芸、畜産における機械・施設導入や担い手育成への支援対策等を要請した。



有機農業で所得増へ新ブランド誕生

民間の街づくり会社「ヤマガタデザイン」は10月29日、鶴岡市で市と当JA、JA鶴岡と連携し、有機農業など持続可能な農業推進に向け、新ブランド「SHONAI ROOTS=ショウナイルーツ」を立ち上げたことと発表した。国内の有機農業マーケットが伸び悩んでいることから、新しいマーケットの一つとして、有機農産物など付加価値の高い販売を行い、新規就農者の獲得と地域農業者の所得向上を目指していく。ブランド立ち上げは、鶴岡市農業人材育成・確保プロジェクトの一環。2020年春までに具体的な要綱などをまとめ、募集・審査を行う予定だ。



地域住民の交通安全に一役

地域住民の交通安全と事故防止に役立ててもらおうと、当JAとJA共済連山形は10月18日、三川町にカーブミラー4基を寄贈した。JA宮崎重美専務が三川町役場を訪れ、阿部誠町長に目録とカーブミラーのレプリカを手渡した。阿部町長は「交差点が多い町なので、交通事故防止に大変役立っている」と話した。この取り組みは、地域貢献活動の一環として1973年度から行っており、今年度は9月26日に庄内町へ6基寄贈し、11月18日に鶴岡市へ21基の寄贈を予定。今後も地域の交通安全に寄与していく。



長ネギ生産拡大へ向け設備増強

本格的な長ネギの収穫が進む10月下旬、今年新たに導入した根葉切り皮むき機や選別機による調整作業がスタートした。長ネギの主要集荷場のJA三川支所青果物集出荷施設へ各2台ずつ導入。事前に長ねぎ部会員へお助けコース利用需要を調査し、現状の処理能力を大きく上回る利用需要が確認されたことから導入を決定した。利便性を向上させることで、新規栽培者の掘り起こしや既存栽培者の規模拡大などを図っていくことなどが目的で、共選集荷施設の設備増強により、部会員の作業省力化や生産拡大が期待されている。今年度は首都圏市場を中心に出荷量110トンを目指していく。



新築予定者にJA住宅ローンを紹介

当JAは10月20日、三川町の庄内みかわ総合住宅展示場で、JA住宅ローンのPRとハウスメーカーとの連携強化につなげようと住宅ローン相談会を開いた。住宅新築を予定している家族連れが訪れ、融資担当職員が住宅ローンの活用アドバイスや借入可能額診断を行った。来場者には、JAバンク特製グッズや県産米「つや姫」をプレゼントした。



2019やまがたフラワーフェスティバル

2019やまがたフラワーフェスティバルが10月18～20日、天童市で開かれた。18日に行われた品評会では、花き部会の高橋聡さん（庄内町）のダリアが最高賞の金賞・農林水産大臣賞に輝いた。県花き生産連絡協議会と同フェスティバル実行委員会が主催。品評会は切り花、鉢物、枝物の計246点が出品され、色や形状などが審査された。





あいとサービス創業祭

10/19~20



つるおか大産業まつり

10/19~20

かぼちゃを使ったお菓子に舌鼓

かぼちゃを使った菓子作りを学ぼうと女性部新余目支部は10月17日、庄内町で料理講習会を開いた。野菜は部員らが春から育ててきたものを使用。パンケーキやプリンなどを作り、自宅でもすぐに実践できる手軽さと旬を迎えたかぼちゃの甘さに驚きを見せていた。



自分好みのブローチを作成

女性大学「あいとスクール」手芸と運動コースの第5回講座が10月17日、藤島農産加工技術研修施設で開かれた。ローラーワークスを教える齋藤幸子さんを迎え、傘型のブローチ作成に挑戦。花柄の布やパールビーズで飾り付けし、オリジナルのブローチを仕上げた。



月山ワイン新酒フェスティバル

10/20

各地域で賑わい!

実りの秋を満喫!



JAグリーン収穫感謝祭



10/26~27



温海農林水産まつり

10/26



ふじしま秋まつり

10/27

農業体験記

パルシステム埼玉/10月5日



生活協同組合パルシステム埼玉の組合員親子ら約30人が庄内地方を訪れ、地元生産者らと田植え体験の時から育ててきた「つや姫」を刈り取りました。

藤島小学校/10月15日



4年生児童62人が畑の先生の指導で、大豆「リュウホウ」の収穫を体験しました。大きく実った大豆を実習畑から根のゴコと抜き取りました。

余目第四幼稚園/10月24日



年長組19人がコンバインでの稲刈りを見物しました。稲をコンテナに移す作業の迫りに歓声を上げていました。

藤島小学校/10月25日



5年生児童60人が藤島地区にある当JA南部カントリーエレベーターを見学しました。収穫した米が出荷されるまでの流れや施設内の構造などを学びました。

渡前小学校/10月29日



3年生児童10人が羽黒地区の当JA庄内柿選果場を見て回りました。収穫した柿の調製方法や自動で選別される様子に目を釘付けにしていました。

信用Q&A

Q 来春、大学に進学を予定している高校3年生の娘がいます。パート代などの生活費の支払いに、JAの教育ローンを利用することはできるでしょうか?

A JAの教育ローンは、高校、高専、短大、大学、専門学校等の入学前に必要な入学金や授業料などのお支払いのほか、お子さまがひとり暮らしを始める際にかかる、パート代などの生活費にもご利用いただけます。更に、在学中は随時お申し込みいただける他に、在学期間分をまとめてお借入れすることも可能です。

Q 返済方法は毎月返済(ボーナス増額返済も可)となりますが、在学中は元金の支払いを据え置いて利息のみを毎月返済し、卒業後に元金の返済を開始することもできます。

A なお、当JAホームページでは簡単・スピーディーなネット審査(仮審査)を行っております。ネット審査お申込みで金利がお得になるキャンペーンも実施中ですので、ぜひご利用ください。

詳しい商品内容、ご利用条件については、当JAホームページ、または各支所融資窓口までお気軽にお問い合わせください。

お問い合わせは各支所融資窓口まで

- 温海支所 0235-43-3411
- 新余目支所 0234-43-4422
- 立川支所 0234-56-2144
- 藤島支所 0235-64-5837
- 三川支所 0235-66-2795
- 羽黒支所 0235-62-2143
- 櫛引支所 0235-57-2993
- 朝日支所 0235-53-2512

仮審査の申し込みはコチラから! →



JA庄内たがわ独自企画 冬こそ貯金だ!

冬キャンペーン

2019年 11.25月 ▶ 12.30月

定期貯金
お預け入れ
新規・増額

300万円以上

金利 0.05%

定期貯金
お預け入れ
新規・増額

10万円以上

先着

その場で景品が当たるスピードくじ

★総合取引ポイント制度によるポイントが付与されます。たまったポイントはJA特産品・加工品・購買引換券と交換できます。

ラッキーチャック

数に限りがございます。内容は店頭でご確認ください。

商品内容 ○スーパー定期1年もの(自動継続扱い)
○お預け入れ金額 新規・増額10万円以上(ATMでのお預け入れは対象外となります) →店頭金利となります。
○お預け入れ金額 新規・増額300万円以上(ATMでのお預け入れは対象外となります) →0.050%

JAバンクは、万全な体制で組合員と利用者みなさまのために「より一層の便利と安全」をお届けします。

「JA庄内たがわ 冬キャンペーン」概要
●お申込みいただけるのは個人のお客さまです。●キャンペーン金利はお預け入れ金額が300万円以上の契約が対象となり、当初満期日までの適用といたします。●満期日以降は自動継続時の店頭金利が適用されます。●中途解約される場合は、JA所定の中途解約利率が適用されます。●利息は20.315% (復興特別所得税0.315%を含む)の分離課税となります。●店頭商品概要説明書をご用意しています。●取扱いに際しては、一定の手続きが必要となります。●その他詳しくは店頭窓口にお問い合わせください。

詳しくはJA窓口へ

産直 め農マリン イベントのお知らせ

11/23日・24日 **ポイント5倍**

果物フェア

★当JA管内で収穫したりんごの特売!
★提携JA特産のみかんをフェア限定価格で販売!

11/30日・12/1日 **ポイント5倍**

越冬野菜フェア

白菜・大根・ねぎ特売! 越冬野菜を使った鍋を販売!

新米

令和元年産米 好評発売中!

JAカードでお買い上げの方は 請求時に5%割引!

SNSもチェックしてね!

Twitter @jashonai730 Instagram ja_shonai_marche

産直 め農マリン 10月から3月までの営業時間: 9:00~17:00 〒997-0824 鶴岡市日枝字小真木原8-1 TEL0235-25-6778 FAX0235-26-7880 E-mail sanchoku@ja-shonai.or.jp

農産物を出荷していただける産直協力会員を随時募集しています!

い〜となう!

～秋の味覚をぎゅっと凝縮～

柿えくぼ(化粧箱入り)

5個	1,320円
10個	2,420円
15個	3,410円
20個	4,400円

干し柿(無燻蒸) 300gトレー入り 648円 (いずれも税込)

受付 12月末日まで
発送 12月上旬
～1月中旬
送料 全国一律 1,100円/箱 ※1宛先2箱まで

～秋の味、出陣～
山形名物芋煮の主役「里芋」今年も美味しく出来ました。

価格 (1*当たり税込)

3L	432円
2L	432円
L	378円
M	346円
S	302円

送料 全国一律 1,100円 ※1宛先2箱同梱可

【お問合せ・ご注文】 営農販売部販売課 TEL 0235-64-4972 FAX 0235-64-4920 E-mail hanbai@ja-shonai.or.jp

俳句・添削指導 阿部月山子先生

特は特選、添は添削

鶴岡市越中山 佐藤 照子

特 塩むすび のみで足りる昼 今年米

鶴岡市本郷 小野寺 一郎

特 野辺送り 路傍に集く ちぢろかな

鶴岡市東岩本 小野寺 弥一

特 老人 重き稲束 稲架を組む

鶴岡市東岩本 高梨 秀子

特 山奥へ 木霊となりぬ 秋の蟬

鶴岡市越中山 菅原しづ子

添 産直の 棚の溢るる 豊の秋

鶴岡市みどり町 五十嵐徳美

添 柿もぐや 遙かに簪ゆ あつみ岳

柿もぎや 遠くに見ゆる あつみ岳

庄内町余目 早坂 宗笑

添 熱燗の 徳利に添へる 両手かな

爛酒や 両手を添へる 冬隣

〔評〕俳句は冬の季節で冬隣は秋の季節ですが、この句の場合は爛酒が主体なので、熱燗の徳利に添えるとすると、温かさが両手伝わってくるのが表現できる。

〔評〕芭蕉の「あつみ山や吹浦かけて夕すみ」に出てくるのが温海岳(七三六米)。遠くに見ゆるをはるかに簪ゆとする、とあつみ岳が引き立つ。

〔評〕朝日地区の産直「あさひぐり」は、山と里の産物が並ぶので賑わう。秋は葎や果物が加わるので棚が溢れるようになる。句が三段切れなので配置を換えて、産直の棚の溢るとすると、より良くなる。

議案報告 理事会だより

令和元年10月29日(火)

〔議案〕

第1号 上半期決算実績検討について
庄内たがわ農業協同組合・株式会社あいとサービス企業年金規約の一部変更について(案)

第2号 畜産部門における内部統制に関する監事監査報告書について

第3号 令和元年産水稲種子概算金取扱要領について(案)

第4号 固定資産取得について(案)

第5号 理事と組合間の利益相反取引の承認について(案)

第6号 令和元年度上期集落座談会意見・要望に対する回答について(案)

第7号 令和元年度上期集落座談会意見・要望に対する回答について(案)

以上7議案、慎重に審議され原案通り決定されました。

〔報告事項〕

・(株)あいとサービス上半期決算について
羽根のうきよう食品加工(有)上半期決算について

・(株)あつみ農地保全組合第3四半期決算について

・理事と組合間の利益相反取引承認後の取引報告について

・令和元年度連続職場離脱の進捗状況について

・令和元年度上半期内部監査の結果について

・会計監査人監査に伴う関連当事者取引のとりまとめについて

・令和元年度第2四半期自主検査の実施・改善状況の報告について

・令和元年度第2四半期不正・不祥事、苦情等の報告について

・令和元年度第2四半期事務ミスの報告について

・令和元年度上半期「コンプライアンス・プログラム」の進捗状況について

・令和元年度第2四半期余剰金運用体制にかける検証結果の報告について

・令和元年度貯金者データ整備の取組み状況について

・余剰金運用状況報告について

・ALM委員会の協議結果報告および第3四半期余剰金運用方針について

・交通安全機器の寄贈について

・令和元年度「A共済コンプライアンス点検結果」について

・園芸特産物仮渡設定について

・営農事業改革部第2四半期活動経過報告について

その他

家の光

12月号・1月号 購読申し込み受付中!

お得な年間予約受付中!

●誌代1年分を前納すると普通月号1か月分が無償となります!

●セレモニー互助会もご利用できます。

●年間予約購読(前納)誌代(税込)

誌名	年間定価合計	無償分	前納誌代
家の光	9,411円	629円	8,782円
地上	7,540円	618円	6,922円
ちやぐりん	6,156円	492円	5,664円

お知らせ
年間購読されている方へ
11月18日(月)までに購読中止の連絡がない場合、引き続き年間購読とさせていただきます。

お申込・お問合せ 生活福祉部生活課 TEL0235-64-5834 FAX0235-78-3883

JA櫛引農工連 冬の特選ギフト

令和元年度

チラシ有効期限 令和2年2月末日迄

ろ セット 甘酒300g×5 1,300円 (税込価格)

へ セット 味よし1L・本醸造1L 1,250円 (税込価格)

お問合せ・ご注文 JA庄内たがわ 生活福祉部生活課 ☎0235-64-5834 FAX0235-78-3883

心の声

あなたの健康を保つ秘訣は？

なんといってもご近所さんとのおしゃべりに限ります！年代の違う方と仲良しになると、年も違うから当然考え方も少しずつ違います。ですが、畑や漬物のこと、私には学ぶことばかりと同時にストレス解消の場でもあります。心の健康、このような場で治すようにしています。
K・Kさん【温海】

食事を腹八分目と毎日ガゼリ菌ヨーグルトの愛飲です。休日の野菜作りは「無農薬・新鮮＝美味しい」これが楽しみでもあり、健康に大いに関わっています。
M・Hさん【余目】

旬の季節に旬のものを味わう。健康の源は食と思います。量も味も「過ぎず」です。素材の味を大切に美味しくいただくことで、健康な体が保たれる様に思います。
U・Yさん【余目】

ずばり、筋トレです。筋肉は裏切らない！との思いで週2回ジムに通っていますが、未だ筋肉に裏切られています。飲みすぎるからかな（笑）
N・Sさん【樋引】

くよくよしないことです。その日に起こった嫌なことは、お風呂に入ってゆっくりした気持ちになって全て洗い流します。次の日には忘れるようにしています。
K・Yさん【朝日】

ウォーキングを毎日頑張ること！
M・Mさん【奈良県】

人と話すこととウォーキングです。
R・Tさん【長野県】



今月のプレゼント

柿えくぼ(5個入り)2名様

12月号のテーマ

「あなたの冬の楽しみは？」

【応募方法】 下記の①～③を郵便はがき・Eメールにご記入の上ご応募ください。
①テーマの答え(掲載致します) ②住所・氏名・年齢・電話番号
③広報誌の感想、JAへの意見・要望など

【あて先】 JA庄内たがわ広報情報係 〒999-7611 鶴岡市上藤島字備中下3-1
E-mail:kouhou@ja-shonai.or.jp

【しめきり】 令和元年11月29日(金) 当日消印有効
※ご応募頂いた方の個人情報は、目的以外には使用いたしません。
※当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。



aito Nov 2019 No.296

発行/庄内たがわ農業協同組合 〒999-7611 山形県鶴岡市上藤島字備中下3-1
TEL.0235-64-3000 電子メール tagawa@ja-shonai.or.jp
印刷/庄内農村工業農業協同組合連合会

JA庄内たがわホームページ

もっけだねっと

検索



なりた まほ
成田 真帆 さん(23)
新余目支所管内

幼いころ通っていた幼稚園の先生は誰にでも優しく、その姿に憧れていた私は、3年前から、夢であった保育士として鶴岡市の保育園で働いています。園児たちの笑顔が私のやりがいに繋がっています。
休日は、友達とカフェ巡りやドライブなどをして満喫しています。